教育実践総合センター紀要の投稿論文における個人情報の記載に関する申し合わせ

平成 23 年 2 月 16 日

教育実践総合センター運営委員会決定

実践事例について記載する場合は、以下のような点により、対象者が特定されることのないよう配慮する。

- 1 個人情報の記載は最小限にとどめ、考察を展開する上で必要でない情報は原則として記載しない。（例 対象者が看護師である等の職種に関する情報の記載は、個人の特定可能性を大幅に高めるので、職業上の特性が考察で取り上げられないのであれば記載しない。）
- 2 対象者の氏名、住所や地名、所属学校や関係機関など対象者の属性を記す場合は、イニシャルで記載せず、A、B、C、・・・、のように記す。（例 「山田」という人物名の場合、「Y」と記さず「A」と記す。「大分中学校」の場合「O 中学校」と記さず「A 中学校」と記す）。
- 3 実践の経過を記す場合の期間や日付の記載は、「X 年」「X+1 年」のように記す。
- 4 対象者の性別は記載して良い。

（参考）記載上の変更の例

記載事項	×	○
職種	「看護師」	「医療関係職」「有職」
人名	「山田」「Y」	「A」、仮名
機関名	「大分中学校」「O 中学校」	「A 中学校」
地名	「大分市」	「A 市」
期間、日付	「平成 21 年 3 月」	「X 年 3 月」
その他	「野球部に所属」	「運動部に所属」